

培良タイムス

令和元年12月2日(月)

第8号

京田辺市立培良中学校

TEL 62-9363

ホームページアドレス <http://www.kyotanabe.ed.jp/nc21/bairyo-jh/>

全国学力・学習状況調査の結果(3年生4月実施)より

校長 山下 博史

4月に3年生で実施した標記の調査結果が返却されてきました。この調査は、毎年、3年生を対象に、「(全国、京都府、京田辺市)生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。」ことや、「学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。」ことを目的に行われています。

本年度は、国語、数学、英語の3つと、生活習慣や学校環境に関する質問紙調査が行われました。これまでは、「知識」に関する問題、「活用」に関する問題の2つに分かれていましたが、今年度より、従来の区分を撤廃した調査となっています。また、英語では『話すこと』の問題が初めて実施されました。結果から見えてきた本校生徒の特徴と取組についてお知らせします。

【『書く能力』が伸びつつある国語】

全体の平均正答率でみると、国語は、全国平均や京都府平均(以下府平均と記述)よりやや上の水準である状況です。領域の中では、『書く能力』(本校85.5%⇔府平均83.6%)、『言語についての知識・理解・技能』(本校71.5%⇔府平均68.3%)の2領域が少し高い傾向にあります。これについては、【今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか】という質問に対し、「まったく解答しなかった」と回答した生徒の割合の差(本校0.0%⇔府平均2.9%)と考えられます。特に「短答式」の問題形式に対する正答率が高く、一問一答形式の問題への対応力は高いといえます。

一方で『話す・聞く能力』がやや府平均よりも高い(本校70.3%⇔府平均69%)傾向にあります。自分の意見や考えを伝える機会を今以上に設けるとともに、本校の取組でもある《学び力》を活かし、他人の意見と自分の意見を比較しながら聞くなどの練習を充実させていきたいと思えます。

【基礎・基本の定着が求められる数学】

平均正答率でみると、全国・府平均にやや及ばない状況です。正答率の分布を見ると、府平均と比べて、高得点層が少なく、中間よりやや低い層が多くいます。領域別の正答率を見ると、特に『関数』の領域で全国・府との差(本校32%⇔府平均43%)が出ています。また、短答式、記述式の問題への無解答率が高いのも特徴です。

設問別の傾向では、『確率を答える問題』の正答率が非常に高い(本校85%⇔府平均75%)反面、『三角形の合同条件を書く問題』の正答率は府平均から少し離れています(本校58%⇔府平均75%)。

質問紙の結果から、数学への苦手意識を持つ生徒も府平均より多くいるのも現状です。しかし、『数学の授業の内容はよく分かる』と答えた生徒は非常に少なく(本校4%⇔府平均8%)、苦手意識を持った生徒も参加・理解できる授業づくりの成果が表れています。基礎・基本の定着を図りながら、応用問題にも対応できる力をつけられるような授業を心がけていきます。

【アウトプットに課題が見られる英語】

英語の平均正答率は、数学と同様、全国・府平均にやや及ばない状況です。領域別に見ると、『聞くこと』に関する問題では、府平均とほぼ同等の水準ではありますが、『書くこと』(本校38.5%⇔府平均47%)の領域が府平均を下回っています。傾向としては、単語や熟語はある程度理解できていますが、組み合わせて文章を作成するとき、文法の理解が不十分で、正しい文を作ることができていない生徒が多くいます。また、自由記述で2文以上の英作をする問題では無解答も目立ちます。

今年度から取り入れられた『話すこと』の領域も府平均を下回っています(本校15%⇔府平均30%)。授業では、プレゼンテーションや対話発表形式の活動を多くしていますが、メモなしで、即興で『書く活動』や『話す活動』をさらに取り入れ、自分の意見や考えを自由に記述・発表する機会を増やしたいと思えます。

質問紙では、『英語の勉強は大切』『英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ』と答えた生徒は、府平均と比較しても高く、9割の生徒が英語の勉強を大切と感じています。この気持ちを大切に、生徒が意欲を持って、主体的に取り組める活動を進めていきたいと思えます。

【質問紙からわかる培良中学生の特徴】

☆成果と課題☆

1年入学時より、各授業で出る宿題以外に、家庭学習ノートを確実にやりきる指導をしてきました。その習慣がしっかりと身についています。もちろん、ご家庭のご協力のおかげと感謝しております。その結果、『毎日30分以上家庭学習をしている』と答えた生徒は84%で、府平均の80.8%を上回っています。しっかりと自主的に学習する習慣が身につけていることがわかります。今後も、授業と家庭学習をさらに連動させ、『質の高い家庭学習』ができるように指導していきたいと思えます。

また、昨年度までの本校の課題であった自己肯定感に関して、『自分にはよいところがあると思う』と答えた生徒が72%で、府平均の71%を上回りました。自己肯定感、自己有用感、個性を磨く上でも重要なものですので、大事にしてほしいと思えます。

『住んでいる地域の行事に参加している。』(37%⇔府平均48%)、『地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある』(28%⇔府平均36%)など地域や社会への関心が低いことが気になります。社会科や道徳などを通じ、より地域社会を身近に感じられるようにしていきたいと考えています。ご家庭でも、地域のことや社会の動きなどを話題にいただければありがたいです。今年度より、教育目標に「社会貢献できる」という文言を加え、地域社会に興味・関心を持つよう声かけを進めていますので、今後、その成果が表れることを期待しています。

『難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している』(56%⇔府平均68%)、『将来の夢や希望がある』(62%⇔府平均66%)等、将来や今後に対する不安を抱えている生徒が多く見られます。

これ以外にも、多様な課題に対し、学校でも様々な取組をさらに進めてまいります。ご家庭でもお子様とよく話し合ってください、子どもたちが有意義な中学校時代を送れるようにご協力をお願いいたします。

【今後も培良スタンダードの大切さと更なる発展を目指して】

今回の調査で、生徒自身が一定、学習を自主的に行い、授業の振り返りや家庭学習を続けていることが見てとれました。また、これは授業改善の取組が大きくかかわっていることがあげられると思えます。これらは、普段から「培良学習スタンダード」を意識して授業を受けられていることが大きな要因と考えられます。一方で、『勉強は大切で、将来に役立つ』と考えている生徒は多いものの、基礎基本の定着や活用の問題の正答率が平均よりも下回っている現状もあります。普段の授業改善を各教科で進めていく必要が感じられます。

今年度は本校教職員全体で、「学び力」と「ユニバーサルデザイン」を意識した授業づくりを目指してきました。「学び力」により、どの学習活動により意識を向けるかを考え、主体的に取り組む姿勢を指導してきました。

また、教室前面の環境整備や教室環境の改善、電子黒板などのICTを重視した、ユニバーサルデザインの授業づくりを進めることで、だれもが安心・集中して学習できるよう工夫しています。今年度末には振り返りを行うとともに、更なる「スタンダード」、「学び力」、「ユニバーサルデザイン」の意識向上にむけて努力していきたいと思えます。今後も職員一同授業改善を進め、楽しく、わかりやすい授業を目指していきます。

教養の秋

～培良中学生の心が豊かに～

11月は総合的な学習の時間に各学年とも様々な体験活動がありました。これらの体験活動が心の糧となり、豊かな心を育み素晴らしい人間性を育ててくれることを願います。

3年草内幼稚園・田辺東幼稚園の園児と交流

家庭科の授業で幼児向けのおもちゃを制作し、そのおもちゃで遊んだり、紙芝居を読んであげたりしました。また一緒にゲームをしたり、お弁当を食べたりして、楽しい時間を過ごし、幼い子どもへの思いやりの心を育むことができました。



【紙芝居読み聞かせ】

2・3年救命講習



【AED体験】

国際理解学習

今年には京都府名誉友好大使（インドネシア出身）をお迎えし、インドネシアの文化や学校の学習内容、自身の学生時代の話などを聞かせていただきました。流暢な日本語でびっくりしました。スライドを使った楽しいお話で、1時間があっという間に過ぎました。本当に楽しく、ためになるお話が聞けて良かったです。他国の文化を知ることによって自国の文化をより深く理解するきっかけにもしてほしいです。



【友好大使による講演】



【義足体験】

文化の秋

～培良中生のがんばり～

11月3日（土）小・中学生英語スピーチコンテストが開催されました。出場したのは、2年2組の新井 実那 さん、野口 あき のさん、2年3組の伊藤 基就くん、松尾 優大くん、3年3組の吉村 桃姫さんです。多くの観客の前で緊張もあったとは思いますが、本校ALTのスコット先生と放課後も頑張って練習した成果を発揮しました。発音のうまさや豊かな表現力で吉村さんは見事**準優勝**、伊藤くんは**3位**に入賞しました。



PTAの活動もたくさんありました！！

社会見学

11月15日（金）に文化・体育部の活動として、社会見学が実施されました。今年には麒麟ビール神戸工場に見学へ。楽しく有意義なひと時を過ごしました。昼食は工場内の「丘の上ビアレストラン」でコースランチに舌鼓。神戸三田プレミアムアウトレットではショッピング。今年も楽しい社会見学となりました。今年の参加人数は22名。来年は皆さんもぜひご参加ください。



先日の11月26日(火)に、小中合同PTAによる「あいさつ運動」が行われました。保護者の方に参加していただき、また新生徒会本部役員や学級委員も一緒に元気にあいさつしてくれました。校門前で参加できなかった保護者の方も地域で声をかけていただいていたありがとうございました。



新生徒会本部役員が決まりました。

10月28日(月)6校時に、生徒会の本部役員立会演説会と選挙が行われました。どの候補者も、自分が本部役員に立候補した理由や本部役員になって実現したいことなどをしっかりと述べてくれました。応援演説者も候補者の人となりを熱心に紹介してくれました。また、11月19日には、新旧生徒会本部役員引き継ぎ式が行われました。培良中学校のNEWリーダーとして、前生徒会本部の良さを継承しつつ、素晴らしい培良中学校を創ってくれることを期待しています。
では、新生徒会本部役員を紹介します。



会 長 … 松尾 優大 (2-3)
副 会 長 … 上島 美桜 (2-3)
議 長 … 森岡 弥生 (2-1)



【マラソン大会について】

令和元年12月13日(金) 男子:午前9時20分、女子:9時30分に本校グラウンドを

スタートします。西門から出て、田辺東小学校東側から木津川堤防へ上がり、サイクリング

ロードを南に走ります。お忙しいとは思いますが、時間がありましたら、どうぞ応援に来てください。



十二月の予定

◆◆ 最終下校時刻 16時45分 ◆◆

3日(火) マラソン前検診
6日(金) 計算コンクール
9日(月) 2年生スキーサイズ合わせ
11日(水) なかよしクリスマス会
13日(金) マラソン大会
※部活動あり
ボランティア活動あり

16日(月) 三者面談
(~20日(金) 短縮午前授業開始
12時50分終学活終了)
最終下校 16時30分
24日(火) 終業式
大掃除
部活動あり
15時00分下校

